

追手門学院大学

校友会会報



第61号
平成18年(2006年)9月15日
発行者 〒567-8502
茨木市西安威 2-1-15
追手門学院大学校友会
会長 平野 昌雄
電話 072-643-6135
FAX 072-643-6099
©2006 編集責任 蟻 柴 潤一

大学創立四〇周年記念 校友会館建設に向けて

校友会会長 平野 昌雄



この度、大学四〇周年記念事業、および追手門学院一二〇周年記念事業の一環として大学敷地内に新たな交流の場となる校友会館建設が実現の運びとなりました。

校友会の皆様が母校を訪問された時、くつろげる場所の提供と在校生も一緒に利用できる会館作りを考えております。

現在、事業委員会の中に建設委員会を設け色々な計画案が出ております。八月には設計施工を依頼する為、ゼネコン三社(大林、鹿島、竹中)を選定し、入札説明会を実施、九月にコンペ入札を行い、業者を選定したいと考えております。

十月の校友会総会、ホームカミングデーには、校友会の皆様にご報告できればと考えております。

校友会館の規模につき

ましては建設費約二億円、会館内には大学歴史記念室、事務室、会議室等検討しており、来年秋の完成をめざしております。これから校友会が益々発展、充実して行く為の活動拠点となります様校友会皆様には引き続きご協力、ご指導をお願い申し上げます。

2006年度 校友会総会及び ホームカミングデーのご案内

開催日:2006年 10月 29日(日)

総会:午前 11時~(大学食堂棟 3階)

ホームカミングデー:正午~(同1階)

同時開催:アメモB等によるコンサート
なつがしの写真パネル展示

思い出の1号館が取り壊されます。最後の姿を見学には是非お越しください。

文学部心理学科・人間学部心理学科卒業生の皆様へ

今年度のホームカミングデーに、心理学部発足を期に心理学科卒業生の集いをもちたいと考えております。

つきましては、資料や会場の都合がございますので、ご参加下さる皆様はメールで10月10日までに下記の宛先まで参加する旨のご連絡を下さいますようお願いいたします。詳細は、10月11日以降にメールでお知らせいたします。

なお、参加する旨のメールのタイトルは同窓会参加とし、その他氏名(旧姓)、卒業年度、ゼミ名などの情報も併せてお送り下さい。連絡先:otiai@haruka.otemon.ac.jp

心理学部心理学科 落合 正行

文学部社会学科・人間学部社会学科卒業生の皆様へ

今年のホームカミングデーに「社会学部支援同窓会」を立ち上げます。

場 所 大学食堂棟 3階
時 間 pm2:30~総会 pm3:30~卒論返却(今年かぎり廃棄処分とします) pm4:00~パーティー
会 費 2,000円
備 考 卒論返却希望の方は「社会学部支援同窓会」のタイトルで必ずメールして下さい。
連絡先 yoshida@res.otemon.ac.jp

社会学部社会学科 吉田 正

宇田ゼミOBの皆様へ

恩師・宇田正先生が3月末をもって追手門学院大学を退職されました。在任中に宇田ゼミOB会を開く予定でしたが、都合がつかず断念いたしました。

今年のホームカミングデーには、是非ともお越しいただきOB会開催についてご相談させていただきたいと考えていますので、多くのOBの皆様に参加していただきますようお願いいたします。連絡先:akinolisu@yahoo.co.jp

宇田ゼミ7期 中井 隆

学院長・学長就任のご挨拶

学院長・学長 鈴木木多加史



五月一日付で学院長・学長を拝命いたしました。教育界を取り巻く環境が厳しさを増す中、この重責を担うということは身の引き締まる思いがいたします。皆様方のご支援を賜りながら職責を果たしてまいりたいと考えておりますので、どうかよろしくご支援を賜りますようお願いいたします。

校友会の皆様方には、日頃母校のために絶大なご協力を賜り、感謝しております。日本国内はもちろん、諸外国におきましても有力な私学はいずれも強力な校友会組織を持つており、それが母校を支える大きな力となっております。

本学は今年創立四〇周年という節目の年を迎えます。

四〇年という歳月は、初期の卒業生の方々の多

くが社会の指導的な地位に就いておられるという時期に到達させてくれました。それが現在の強力な校友会を形成しているのだと思っております。

ご承知のように、追手門学院は再来年二〇〇八年に創立一二〇周年を迎えます。大学創立四〇周年と合わせて、現在記念事業を推進しております。大学ではハードの面としては中央棟、六号館の建設、グラウンド、駐車場、バス乗り場の整備、入り口から校舎に続く桜並木、芝生広場の整備など、従来の面目を一新する工事を実施しております。入り口の守衛室は、建築の賞を受賞した斬新な建物です。最近大学に来ておられない校友の皆様は、是非一度大学において下さい。その変貌にきつと驚かれることと思います。

記念事業の一環として、

校友会は大学に「校友会館」をご寄贈下さるご計画があり、目下協議をしております。これが完成いたしますと、校友会の拠点として大学に來られる校友の方々に気兼ねなくご利用戴けますし、他の同窓会組織や在校生も利用させて戴くことが出来る会館を目指してどの

追手門学院一二〇周年

記念事業と将来計画

心理学部長 落合正行



本稿では、追手門学院一二〇周年記念事業や大学の改組改革、将来計画について紹介します。

追手門学院は二〇〇八年に一二〇周年を迎え、大学では二〇〇六年に四〇周年を迎えています。学院では二〇〇三年から五カ年計画を立て、教育、財政、人事改革、キャンパス整備、経営システム改革など現在さまざまな計画が遂行中です。キャ

ような建物にするかを考えているところです。

厳しい環境の中で、追手門学院大学を発展させていくことは容易なことではありませんが、教職員一同懸命の努力を続けております。校友会の皆様方のさらなるご支援をお願いしてご挨拶とさせていただきます。

ンパス整備では、幼稚園舎・大手前中央校舎の全面建替、小学校西館建替、大学における地域支援心理研究センター新築、図書館のリニューアル、宮本輝ミュージアム新設、グラウンド・駐車場整備、中央棟・六号館新築、一号館建替、研究棟二リユール等が既に修了したり進行中です。その他、記念行事としては、式典、一二〇周年記念志発行、

一二〇周年記念講演会、記念コンサート、天神祭船渡御追手門学院奉拝船などが計画されています。大学の教育改革では、

二〇〇五年四月経済学部では国際経済学科を改組しヒューマンエコノミー学科へ、経営学部では国際経営学科を改組し、定員一七〇名と三十名増員しマーケティング学科を開設、また地域支援心理研究センター(文科省オプンリサーチ事業に選定)を開設しました。文学研究科心理学専攻における臨床心理学コースが臨床心理士受験資格第一種指定大学院として認定されました。二〇〇六年四月には、人間学部の心理学科と社会学科を改組し、それぞれ心理学部心理学科(定員二百名、六十五名増員)、社会学部社会学科(定員一五〇名、五十五名増員)を開設しました。大学院でも経済学研究科経営学専攻を改組し、経営学研究科経営学専攻を開設しました。二〇〇七年度四月から、

文学部アジア文化学科と英語文化学科を改組し、国際教養学部アジア学科、英語コミュニケーション学科を開設します。

一二〇周年以降の追手門学院や大学の将来の中期の目標、特に教育に関する中長期の目標に関

しては、一二〇周年記念事業の小委員会の一つに教育構想委員会があり、ここで各学院の教育構想とともに学院の統一的教育理念と実際の教育プランが策定され、その方針が打ち出される予定です。

提案

学部支援の同窓会を：

社会学部長 吉田 正



今春の入試結果は、全国四年制大学の四割が定員割の中で、本学は何とか前年度並みの受験生を確保することができましたが、来春は「大学全入時代」に突入と更に厳しい状況が予測されています。この困難を見越し、この状況を切り抜けて行くために、学部を改組し、施設のリニューアルを計利、変革する大学のイメージをアピールしてきます。

今年、人間学部が改組されて、心理学部と社会

学部が同時に誕生しました。来年度には、文学部が「国際教養学部」となつて新たなスタートを切る予定です。すでに昨年(〇五年度)、経済学部にはヒューマンエコノミー学科が、経営学部にもマーケティング学科が新設されています。これで全学部改組による、制度面での改革は一段落することになります。他方では、学院創立一二〇周年記念事業としてキャンパスの整備計画が形となつて姿を現しつつあります。

次に私たちがなすべきことは、この「入れ物」にふさわしい教育の中身を構想し実行することで。学部学科のカリキュラムを見直して新たな状況に対応できるように工夫することは当然ですが、今まで周辺のなこととして見捨てられてきたことを再検討することも大切です。例えば学生に居場所やたまり場を提供すること、パーソナルな困難をいち早く察知して積極的に支援するよろず相談システムの構築、などです。

もう一つの事業として私が提案したいことは、この入れ物に卒業生も参加してもらつて巨大な生涯学習ネットワークを構築することです。そのために、先ず校友会組織の分科会として各学部を支援する同窓会組織を下から構築することです。十月二十九日(日)のホームカミングデーに、心理学部は「心理学科卒業生の集い」を、社会学部は「社会学部支援同窓会」を立

ち上げる予定です。「走りながら考える」オシムサッカーを見習つて、出来ることから即やつていこうではありませんか。

**ホームカミングデーで
入試説明会開く
卒業生教員対象**

今年度よりホームカミングデー会場におきまして教育界で活躍されている卒業生の皆様を対象とした入試説明会を開催することとなりました。

説明会は入試相談を兼ねた個別の説明形式で、本学の入試制度の実状および二〇〇七年度入試の概要等をお話させていただきます。

また、貴重なご意見等もお聞かせ願えればと存じます。

卒業生教員のご参加をよろしくお願いいたします。

時間 十二時から十三時半
場所 ホームカミングデー会場特設コーナー

アメ民OBが演奏

今年のホームカミングデーの会場では、アメリカ民謡研究会のOB等が、なつかしい青春時代のメロディを演奏してくれることとなっております。

これを聴くだけでも価値打ちもの！
ぜひご来場を

少林寺拳法部 創部 40 周年記念祝賀会のご案内

少林寺拳法部は、来る平成19年3月11日 大阪市内のニューオータ二大阪で「創立40周年記念祝賀会を開催することとなりました。

実行委員長は河瀬政彦氏、事務局は美濃岡伸也氏が行っており、参加者を募っているので、連絡をして下さい。

<事務局>
美濃岡 伸也 minooka@triton.ocn.ne.jp
神戸市東灘区住吉台 33-1 078-842-0403 携帯 090-5136-6608

恩師を訪ねて(1)

「大学の変化に思う」

名誉教授 小花和昭介



今年三月末をもって、三十八年勤務した追手門学院大学を退職いたしました。心理学を学びながら多くの卒業生を世に送り出してきたことに、いまま静かな喜びと感謝の気持ちを味わっています。

私が就任したのは昭和四十三年、開学三年目の大学はまだ建設途上といえる状況でした。教室は一号館と二号館だけで、研究棟も出来ていません。心理学は社会学と一緒に心理・社会学を構成していましたが、たしか心理学の一期生は二十五名前後だったと思います。今からみれば何もかも貧弱でしたが、しかし学生は活発でした。今の学生よりも元気だったのではないかと思えます。少人数でまとまっていたこと、教員との関係が近かったこと、そして何より

も、新しい大学の草創期を担うのだというような気概が、学生にも教職員にもあつたからだと思います。

就任して何年目でしょうか、まだ助教教授のころ、私は大発見をしました。学生は毎年同じ年齢ですが、私は毎年一つづつ年をとるということです。あまりにも当然のことですが、ゼミか何かのときに、学生との年齢差が広がってきたことに気づいて愕然としたのでしよう。ずっと後年になって定年が近づくころには、若い学生と言葉が通じないとか、感性がちがうと感ずるのは自然のことですが、私はそういう印象を結構早くにもったようです。私の老けるのが早かったのか、時代の変化が速かったのか、まあ両方ということにしておきま

活躍する校友



衆議院議員
大塚高司氏
(89年卒・経営)

校友会会員の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。追手門学院が2008年に創立120周年を迎えますことは、追手門学院大学の卒業生としても、また「追手門」を愛する者の一人といたしましても、これ以上ない喜びであります。これも、創設者 高島鞆之助先生の「地域社会、国家および国際社会において、指導的役割を果たしうる人間の創造を」という建学の精神を受け継ぎ、学院ご関係の皆様が日々努力されてこられた賜物であると感じたいします。

現在、私は国政の場において、国土交通委員会・議院運営委員会・青少年に関する特別委員会に所属し、本学院で学んだ教育理念を胸に、日々努力邁進いたしております。

私といたしましても、国政の場からではございますが、本学院のさらなる躍進にむけ、校友会の皆様とも一致協力をして、力を尽してまいる所存でございます。最後になりましたが、皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

しょう。

時代の変化で思い出しましたが、学生会館が出来たときに一つの議論がありました。こんなホテルのような贅沢なものを作って、という批判です。この価値観から今の大学をみたら、どこもホテルだらけで贅沢極まりないということになるでしょう。

う。

いろいろな要因で大学は変わりますが、とくに近年では、如何にして学生を集めるかという大学の生き残り策としての発想が大きな力をもっているようです。でも、立派な建物や新しい学部学科構成が、単に受験生の人気を集めるためというだけ

けでは淋しいことです。真に内実を伴った、新しい大学づくりが進められることを期待して止みません。

卒業生の皆さんも、それぞれの分野で精一杯ご活躍ください。それが母校の発展への最大の応援歌です。



追手門学院創立120周年・追手門学院大学創立40周年

『宮本輝ミュージアム』開設1周年記念



宮本輝氏 小栗康平氏 対談 『泥の河』を語る

主催：追手門学院大学・追手門学院大学校友会 後援：大阪市・茨木市・読売新聞大阪本社



平野昌雄校友会会長

二〇〇六年度追手門学院大学は創立四〇周年を迎え、校友会ではこれを記念して、大学と共催で『宮本輝ミュージアム』開設一周年記念イベントを開催しました。

五月二十七日(土)雨の予報を吹き飛ばして、宮本輝氏(一期生)と小栗康平氏により『泥の河』を語るを題して、記念対談及び「泥の河」映画上映が一般市民を含め、満員の観客を集め本学学生会館大ホールにて開催されました。

鈴木多加史学院長・学長から『宮本輝ミュージアム』開設に至った経緯と謝辞が述べられた後、平野昌雄校友会会長から「母校に対する宮本輝氏の想いに深く感謝します。」との挨拶がありました。



宮本輝氏

また母校の設立当時の様子と、大切な青春時代の思い出づくりに一役かっってもらおうと宮本輝氏の落款入り「青が散る」を新入生全員に贈呈したことなどの報告がありました。

『泥の河』は、宮本輝氏にとっては太宰治賞受賞の記念すべき作品であり、映画監督小栗康平氏にとっては自主制作の処女作ということ、思い出深い映画を誕生させるまでの秘話など野間裕子読売新聞大阪本社編集委員の司会によりお話しいただきました。

対談では宮本輝氏から



小栗康平氏

「小栗監督から映画化したいとお話があったとき、この作品が映画になるのだろうか、また、作ることはできたとして、どこで公開するのか。小栗監督と同行して宮本氏をたずねたプロデューサーの方は、困ったようにネックタイを指でくるくると巻いてはのびしを繰り返していらした。」などと楽しいエピソードもお話されています。

図書館では、当日の対談のビデオと同時に『泥の河』の舞台をたどる』と題したビデオも公開しています。宮本輝氏の幼なじみで、本学卒業生の一本松氏が「泥の河」の舞台となった安治川や、当時の思い出を楽しく語ります。



宮本輝ミュージアム
開設協賛金寄贈
校友会会員一覽

追手門学院大学附属図書館内に併設された「宮本輝ミュージアム」に対し、標記の協賛金を募っています。

八月二十九日現在、特別会員を含む校友会員二〇四名の方からご協力をいただき、金額は二百萬四千元になっています。ご協力誠に有り難うございました。

寄贈して下さいました校友会員のお名前は次のとおりです。(敬称略)

寄贈者氏名 卒年・学科

中尾 極 (八七・経営)
小野 紀子 (八八・文東)



新入学生に贈呈

学院創立一二〇周年記念事業

「総合募金」のお願い

追手門学院常務理事

山中雅夫

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は大学・学院の教育・研究事業発展のためにご協力ご支援を賜り、まことに有難うございます。この場を借りて厚くお礼申し上げます。さて、一九六六(昭和四十一)年に創立された皆様の母校は今年創立四十周年を迎えております。また、学校法人としての追手門学院は、二〇〇八年に創立一二〇周年を迎えることとなりました。一八八八年、大阪鎮台司令官高島鞆之助子爵により、大阪城前に偕行社附属小学校が創設されてから、明治、大正、昭和、平成と百十有余年にわたる歲月は、学院に幾多の試練を課してきましたがこの間学院関係者は一丸となつて苦難の克服につとめ、今日では幼稚園か

ら大学院までの総合学園として、全国でも珍しい存在となつております。学院では、この一二〇周年という大きな節目を最大限に生かすべく、茨木(大学、中・高)大手前(大手前中・高、小学校)、豊中(幼稚園)の全キャンパスでオール追手門をあげての記念事業を進行させております。大学においては、学部・学科の改組、地域支援心理研究センターの建設、図書館改修と宮本輝ミュージアムの開設、キャリア教育・インターンシップの拡充等、教育・研究体制の一層の充実を図ると同時に、グラウンドと駐車場の整備計画を推進し、キャンパスのエントランスゾーンは一新され、その変貌は目を見張るものがあります。また、坂道を登った正面大階段エリ

アでは、二〇〇六年十二月竣工予定の六号館(最新のIT設備を備えた大教室群)と地下一階地上十一階の中央棟(事務室と教育研究室群等)の建設が進み、將軍山の台地に高くそびえるシンボリックなその外観は未来を臨むキャンパスの誕生を感じさせてくれることと思ひます。ところで、学院では昨年十月に創立一二〇周年記念事業総合募金(大学キャンパスリニューアル計画を内包)を開始致しております。すでに関係各位から貴重なご芳志を頂戴いたしておりますこと、心よりお礼申し上げます。大学・学院では経費節減、原資拡大、各種補助金の獲得など自助努力を続けていますが、これらの記念事業を達成するためにはなお多額の資金を必要としています。ここに大学校友会会員各位の、募金活動に対する一層のご理解ご協力と、ご支援を重ねてお願いを申し上げます次第であります。

編集後記
とにかく暑くて、頭の中が溶けていた。編集をほとんどしてもらった。
そんな時もあるか。つぎからはしっかりやろう。
(潤)

す。ご高配の程よろしく
お願い申し上げます。末
筆ながら会員各位の一層
のご活躍を祈念してご挨拶
とさせていただきます。
謹白

創立120周年記念事業(2006年)行事予定一覧表

行事	月日	場所
東田寿和氏とデューク更家氏 記念講演会	10月6日 (金)	茨木市ユーアイ ホール
歴史写真パネル展 (大学編)	10月29日 (日)	大学食堂ホール
山桜会90周年記念シンポジウム 「オール追手門に向けて」	10月29日 (日)	リーガロイヤル ホテル

追手門学院創立120周年 記念コンサート
校友会山桜会90周年
湯浅卓雄指揮(小学校73期生) 大阪フィル
ハーモニー交響楽団
2006年11月8日(水)
開場18:00 開演19:00 終了予定21:00
会場 ザ・シンフォニーホール
(JR環状線福島駅から徒歩5分)
入場料 大人6,000円
チケットの販売 同封の申込用紙参照
曲目
エルガー:
行進曲『威風堂々』第1番
二長調 op.39-1
ブリテン:
青年のための管弦楽入門
(パーセルの主題による
変奏曲とフーガ) op.34
マーラー:
交響曲 第1番
二長調『巨人』
他
コンサートの収益は
創立120周年総合募金に
充当いたします。

